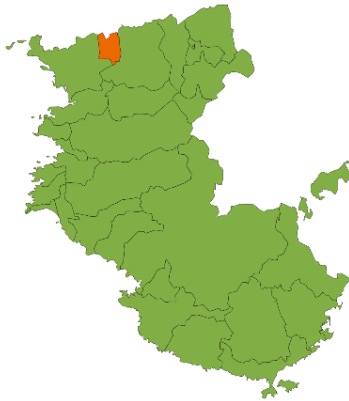


# 和歌山県岩出市

## 道の駅「ねごろ歴史の丘」利用者調査 及び利用促進企画



### 【地域の基礎データ】

人口：54,113 人（令和 3 年 10 月 1 日現在）

高齢化率：23.5%（令和 3 年 1 月 1 日現在）

産業：製造業、農業 など

### 【活動の基本情報】

参加学生数：7 名（1 回生：2 名、2 回生：5 名）

活動期間：平成 30 年 5 月～

担当教員：永井隼人

### 1. 活動実施の経緯

和歌山県岩出市は根来寺や和歌山県植物公園緑花センターなどを有し、また近年では道の駅ねごろ歴史の丘を中心に観光振興に力を入れている。しかし、観光客の市内での滞在時間が短いこと等が課題となっている。岩出市 LIP では 2019 年度から岩出市産業振興課、ねごろ歴史の丘管理協会と連携し、岩出市の抱える課題に取り組んでいる。2019 年度は道の駅での利用者調査、スタンプラリーの開発を行った。2020 年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オンラインでの活動（文献調査、事例研究、SNS 分析）を中心に、道の駅での調査も実施した。2021 年度は、オンラインでの活動を継続しながら、道の駅の更なる知名度の向上、利用者の増加を目指し、関係機関と連携しながら活動を行うこととなった。

### 2. 活動の内容

まず、2020 年度に実施した SNS 分析の結果を学術的にまとめなおし、7 月に開催された第 10 回観光学術学会学生ポスターセッションにて発表した。この発表は優秀賞を受賞という評価をいただいた。年度後半は、SNS 分析の結果を踏まえ、観光 PR 動画の作成に向けて、現地視察を含む活動を行った。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実際に動画の作成までは行うことができなかったが、来年度も引き続き活動を行っていく予定である。

### 3. 活動を通じて

昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大のため、現地での活動機会が少なくなりましたが、オンラインでの活動を継続するなど、道の駅をフィールドに活動を継続することができた。またこのような状況下においても、参加学生は地域の方々と連携しながら地域の課題を学ぶという貴重な経験を得ることが出来た。

#### 4. 成果物（ポスター）

# 岩出市 LIP2021

## 道の駅「ねごろ歴史の丘」 利用者調査及び利用促進企画

宮井 凜晴 / 大山 梨央 / 五味 晴香 / 杉本 情 / 諏訪 葉瑠奈 / 東 美玖 / 上山 歌奈子

### 道の駅「ねごろ歴史の丘」

和歌山県の北の玄関口に位置し、平成29年にオープンした道の駅である。岩出市にある史跡根来寺を紹介する「ねごろ歴史資料館」や、県内の観光情報を提供する情報提供コーナー、県内のお土産を取り揃えた物販施設、飲食施設などがある。京奈和自動車道からのアクセスも良く、新たな観光拠点としての役割を担っている。



地図：「地理院地図」（国土地理院）(<https://maps.gsi.go.jp/#11/34.287857/135.341537/&base=pale&ls=pale&disp=1&vs=c0j0b0k0l0u0t0r0s0m0f1&d=m>)をもとに作成

### これまでの活動内容

道の駅「ねごろ歴史の丘」を訪れる人の実態調査や、道の駅を拠点とした利用促進企画の提案・実施などを行ってきた。

2019年度
当道の駅の利用者実態調査
スタンプラリーを活用したイベント実施
2020年度
日本の道の駅に関する勉強会
当道の駅に関するInstagram投稿の分析
当道の駅を訪れる自動車のナンバープレート調査

### 投稿分析で優秀賞を受賞！

前年度に行った「Instagram投稿データ分析」をさらに整理し、2021年7月に行われた「観光学術学会第10回大会学生ポスターセッション」にて発表した。17件のエントリーのうち、得票数第3位で優秀賞を受賞した。分析結果をまとめ、全国の学生の前で発表するのは苦労したが、この経験を今後の活動や学生生活に活かしていきたい。



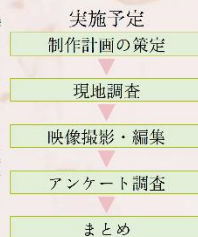
### 現地視察の実施

今年度から新たに参加した1年生を中心に、道の駅「ねごろ歴史の丘」をはじめ、根来寺や旧県議会議事堂「一乗閣」など、根来地域の現地視察を行った。道の駅を拠点とした根来地域の観光促進を図るため、道の駅から歩いて根来寺を訪れ、地域を1周して道の駅に戻った。  
・事前ミーティング：6月10日  
・現地訪問：9月24日



### PR映像の制作と検証

道の駅「ねごろ歴史の丘」を拠点とした根来地域周遊散策をPRする映像を制作することを計画。制作した映像を用いてアンケート調査などを実施し、それを基に根来地域の観光に関する分析を行い、今後の観光促進に繋げる予定である。継続な活動として来年度にかけて実施していく。



### 活動を通じて…

- ・ポスター発表では、活動の成果を評価していただくことができ、自分達の活動への自信をつけることができた。
- ・LIPに初めて参加したが、自分なりに地域について考えることができた。
- ・利用促進企画では、実現性も含め、計画を立てることがとても難しいと感じた。
- ・活発な現地活動を行うことはできなかったが、少人数での現地訪問を通じて、実際に訪れることの大切さを学んだ。
- ・来年度は、さらに地域と関わることができる活動を目指していきたい。